



にしはら



～ 心と心、繋ぐメロディ～

西原町平和音楽祭

(関連記事24ページ)



町の世帯・人口 平成25年6月30日現在

男	17,720人
女	17,524人
計	35,244人
世帯数	13,634世帯

特定健診の受診状況 (平成25年6月末日現在)

受診率	5.4%
平成23年度受診率目標	40%
目標まであと	2,284人

今月のトピックス

- 下水道接続工事の補助金がスタート 2
- 「西原町のまちづくり」提案募集 3
- 広報にしはら500号記念号企画 3
- スリムになって若返り 4
- 集団健診のご案内 5
- 女性のがん個別検診 7
- 児童扶養手当・特別児童扶養手当の「現況届」 9
- 平成26年度 西原町職員採用候補者試験 10
- 平成25年度 平和月間 11
- 災害時要援護者台帳 15
- 上級救命講習のお知らせ 15
- 国民健康保険限度額適用・標準負担減額認定証 16
- 後期高齢者医療限度額適用・標準負担減額認定証 17
- 防災無線を整備しました 18

平成25年度 西原町平和月間

西原町平和音楽祭2013



西原町では6月を「西原町平和月間」と位置づけ、平和事業の推進に努めています。その一環として、6月23日の慰霊の日「西原町平和音楽祭2013」を開催しました。音楽祭には町内外から多くの方が来場し、音楽を通して反戦、平和の思いを確認し、命の尊さをもとに考えました。今年にはラジオMCなどで活躍する中村一枝さんが司会を務め、たくさんの方々の団体やアーティストが出演。イベントを盛り上げました。西原高校マーチングバンド部のマーチングで華やかにオープニングし、この日を目指して練習を重ねてきた西原町小・中・高合同吹奏楽団が、その成果を披露。演奏と歌声で会場を包み込みました。

黙祷を捧げた後、西原町子ども会育成連絡協議会に所属する子どもたちの手によって、平和の象徴である鳩を模った風船が飛ばされ、空を舞いました。

龍宝青年会(幸地)の力強いエイサーや、読みあいネットワーク喜楽星7と民謡歌手の知念こずえさんがコラボレーションした紙芝居の読み聞かせなどが、来場者を楽しませました。

また、ゲストアーティストとして出演したシンガーソングライターユキヒロさんは、手話を交えて歌い、観客と一体になって盛り上がりました。映画「まわり」の主題歌を歌ったシベリアンスカング、代表曲「月桃」などを披露した海勢頭豊さんなどが、音楽祭を大いに盛り上げました。

新里堅進原画展 漫画の原画展を通して、若者へメッセージを発信

沖縄戦などを題材にした作品を手がけている漫画家、新里堅進氏が書き下ろした原画の展示会「未来へ生きる きみたちへ」が、6月21日から7月7日の日程で、西原町立図書館で開催されました。沖縄戦でも激戦として知られるシュガーローフの戦いをテーマにした「沖縄血戦シュガーローフの戦い(未来を生きるきみたちへ)」という作品の原画、約40点が展示されました。

展示会の開催にあたって、新里氏は「シュガーローフの戦いを題材に、沖縄はもちろん、日本軍や米軍などの若者にスポットをあてた作品」と説明。「高校生のときに読んだ沖縄戦の証言集がきっかけで、漫画家を志した」という新里氏は、これまでに沖縄戦に関する作品をいくつも発表してきました。今回の作品は、未来へ生きる若者たちへのメッセージが強く込められており、「将来を託す多くの若い人たちに読んでほしい。沖縄の歴史や戦争に興味、関心を持つきっかけになってほしい」とメッセージを送りました。



新里堅進さん(右)